| 学校番号 | 122 |
|---|---|

平成31年度　　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 国語表現 | 単位数 | 2 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「国語表現　改訂版」（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ①「小論文実力養成講座　ステップアップ小論文」（第一学習社）<br>②「コラムと論説」演習ノート　第５集（京都書房） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、「音声言語による表現」及び「文章をはじめ書くことによる表現」のしかたを学習します。そのためには、必要な情報を収集したり整理したり、また人の意見やアナウンスされたものを聴いた上で、自分の頭でよく考えることが必要です。様々な言語活動を通して、学んだことや自分の考えを書いたり発表したり、人の意見を聞いたり読んだりすることで、積極的に表現力を身につけて下さい。

2　学習の到達目標

・社会人として必要な文章力や音声言語力を身につける。
・自己実現に必要な文章力や音声言語力を身につける。
・言語活動に必要な文章読解力や正確に聞き取る力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語を伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 | | 言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ・行動の観察（授業や課題への取り組み）<br>・記述の点検（ノート、ワークシート等） | ・行動の観察（発表や朗読等の音声言語活動）<br>・記述の確認（発表時等における相互評価への取り組み） | ・記述の確認及び分析（ワークシート、短作文、作文、韻文創作等） | | ・記述の確認 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学 期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 a | b | c | d | e | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | (1)コミュニケーションのためにに | ①ジェスチャーゲーム<br>②質問して当てよう<br>③他己紹介をしよう | ○ | ◎ | | | ○ | a:学習内容を正確に理解しようとしたり、音声言語により正確に伝えようとしている。<br>b:音声言語により正確に伝えることができる。<br>e:言葉の決まりを理解している。 | a:行動の観察<br>b:行動の確<br>e:行動の観察<br>記述の点検 |
| | (2)文章表現の基礎 | ①表記の仕方<br>②語句の用法と文のくぎり方<br>③文章のリフォーム<br>④わかりやすい説明の方法 | ○ | | ◎ | | ○ | a:語句の用法等を理解しようとし、わかりやすい文章を作ろうとしている。<br>c:わかりやすい文章を作ることができる。<br>e:語句の用法等を理解している。 | a:行動の観察<br>c:記述の点検<br>e:記述の点検 |
| | (12)エッセイを書く | ①エッセイを読む<br>②エッセイを書く<br>③作品集作りと相互評価 | ○ | | ◎ | | | a:考えをまとめて適切に文章にしようとしている。<br>c:考えをまとめて適切に文章にしている。 | a:行動の観察<br>c:記述の点検 |
| | (4)声の表現 | ①声を出そう<br>②文字を声に変える<br>③スピーチの方法<br>④声の発表会 | ○ | ◎ | | | ○ | a:発表するのに適切な語句、漢字等の知識を身につけたり、聞き取りやすい発表をしようとしている。<br>b:聞き取りやすい発表ができる。<br>e:発表するのに適切な語句、漢字等の知識を身につけている。 | a:行動の観察<br>b:行動の観察<br>e:行動の観察 |
| | (7)言葉遊びと創作 | ⑤詩を作る | ○ | ◎ | | | ○ | a:言葉の決まりや特徴についての知識を身につけたり、目的に応じた表現をしようとしている。<br>b:目的に応じて:効果的に表現ができる。<br>e:言葉の決まりや特徴についての知識を身につけている。 | a:行動の観察<br>b:記述の点検<br>e:記述の点検 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | (5)人とつながる言葉 | ①挨拶と人間関係<br>②待遇表現～敬語によるコミュニケーショ<br>ン<br>③励ます言葉・受け入れる言葉 | ○ | ◎ | | | ○ | a:敬語等の特徴的な言葉の知識を身に<br>つけたり、目的や場に応じた言葉遣いで<br>コミュニケーションをとろうとしている。<br>b:目的や場に応じた言葉遣いでコミュニ<br>ケーションをとることができる。<br>e:敬語等の特徴的な言葉の知識を身に<br>つけている。 | a:行動の観察<br>b:行動の観察<br>e:記述の点検 |
| | (3)小論文Ⅰ | ①意見を理論的に述べる<br>②セルフ・ディベート<br>③文章の型<br>④構成ノート<br>⑤テーマ型小論文の実際 | ○ | | ◎ | | ○ | a:言葉の決まりや役割についての知識を<br>身につけたり、主張が効果的に伝わるよう<br>に、論理の構成などを工夫しようとしている。<br>c:主張が効果的に伝わるように、論理の<br>構成などを工夫して書いている。<br>e:言葉の決まりや役割についての知識を<br>身につけることができている。 | a:行動の観察<br>c:行動の観察<br>記述の点検<br>e:記述の点検 |
| | (6)面接 | ①自分を知る<br>②相手を知る<br>③模擬面接をする | ○ | ◎ | | | ○ | a:相手や場面に応じた適切な言葉や受け<br>答えをすようとしている。<br>b:相手や場面に応じて適切な受け答えを<br>することができる。<br>e:面接時等の公の場における適切な言葉<br>の知識を身につけている。 | a:行動の観察<br>b:行動の観察<br>記述の点検<br>e:行動の観察<br>記述の点検 |
| | (10)小論文Ⅱ | ①要約の方法<br>②課題文から問を見つける<br>③課題文型小論文の実際<br>④データを読む<br>⑤データ型小論文の実際<br>⑥引用と情報源の明示 | ○ | | ◎ | | ○ | a:小論文を作るのに適切な語句や漢字等<br>の知識を身につけたり、主張が効果的に<br>伝わるように論理の構成を工夫しようとし<br>ている。<br>c主張が効果的に伝わるように、論理の<br>構成を工夫して書いている。<br>e:小論文を書くのに適切な語句、漢字等<br>の知識を身につけている。 | a:行動の観察<br>c:行動の観察<br>記述の点検<br>e:行動の観察<br>記述の点検 |
| | (8)言葉を届ける | ①電子メール<br>②電話とメモ<br>③手紙 | ○ | ○ | ○ | | | a:公の場で使用するのに適切な語句や<br>漢字等の知識をみにつけたり、相手や<br>場面に応じて適切な発信等をしようとして<br>いる。<br>b:相手や場面に応じて適切な発信をしたり<br>手紙を書くことができる。<br>c:公の場で使用するのに適切な語句や<br>漢字等の知識を身につけている。 | a:行動の観察<br>b:行動の確認<br>記述の点検<br>c:行動の観察<br>記述の点検 |
| 3 | (11)話し合いの方法 | ①ブレーンストーミング<br>②ディベートの方法<br>③意思決定・合意形成のための会議 | ○ | ◎ | | | ○ | a:適切な語句やその使い方に関する知識<br>を身につけたり、相手の立場を尊重して<br>話し合おうとしている。<br>b:課題を解決したり考えを深めたりする<br>ために、相手の立場や考えを尊重して<br>話し合っている。<br>e:適切な語句やその使い方に関する知識<br>を身につけている。 | a:行動の観察<br>b:行動の観察<br>記述の点検<br>e:行動の観察<br>記述の点検 |
| | (9)プレゼンテーション<br>の方法 | ①プレゼンテーションの技術<br>②プレゼンテーションの実際<br>③スライドを使ったプレゼンテーション | ○ | ◎ | ○ | | | a:発表するのに必要な語句を身につけたり、<br>適切に情報・分析し、自分の考えをまとめ<br>たり深めようとしている。<br>b:話題や題材に応じて情報を収集し、分析<br>して、自分の考えをまとめたり深めている。<br>c:発表するのに必要な語句などを理解し、<br>知識として身につけている。 | a:行動の観察<br>b:行動の観察<br>記述の点検<br>c:行動の観察<br>記述の点検 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力 e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。